

川上中のシンボル プレイヤーエイリアンについて



2005年に「自然の叡智」をテーマとした国際博覧会「愛・地球博」の展示彫刻として、川上中学校の新作が致された。『player alien』は、心の部分を分るにポッピカリンとク、欠人りないす込た元な穴の開いた本体、その穴に構成も、欠、う作そうのごを、の自パ一ののま前で生自かて品を、とれ作台す。『player alien』は、心の部分を分るにポッピカリンとク、欠人りないす込た元な穴の開いた本体、その穴に構成も、欠、う作そうのごを、の自パ一ののま前で生自かて品を、とれ作台す。『player alien』は、心の部分を分るにポッピカリンとク、欠人りないす込た元な穴の開いた本体、その穴に構成も、欠、う作そうのごを、の自パ一ののま前で生自かて品を、とれ作台す。



【さとうりささんのプロフィール】

1972年東京都生まれ。東京芸
大大学院修了。「りさ・キャンペ
ン」という、作品を使ったパフォー
マンスを国内外で実施、注目されて
いるが、今回の作品の題名は「pla
yer alien (プレイヤー・エイリア
ン)」。高さ6メートルの巨大な立
体作品で、楽しそうにも、寂しそう
にも見えるユニークなキャラクタ
ー。完璧ではない人間が完璧を
求めてさまよう姿を表現している
という。愛・地球広場に接したグロ
バル・コモン1で出会える。